



肝ぞう通信

第 9 号 《 浮腫、腹水がある方の食事について 》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院 1 階
総合相談室

受付時間：
平日 9：00～15：00
土曜日 9：00～12：00
(第 2・4 土曜日除く)

豆知識

次回号

テーマ：
肝がんの化学療法と副作用
対策

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

食事療法の重要性

肝臓は、食物からとった栄養分を体内で利用しやすい成分に変え、貯蔵し、必要なときに全身に送り出す重要な働きをしています。また、体内に入ったアルコールや薬の成分、有害物質、体内の老廃物の分解や排泄を行う重要な臓器です。肝臓は切除しても再生する能力が強い臓器であることが特徴ですが、栄養摂取過多やアルコールの過剰摂取などの生活習慣の乱れにより肝硬変や肝臓がんに進行してしまうことがあるので注意が必要です。

<浮腫や腹水ってどうしておこるの？>

肝臓の機能が低下し肝臓が硬く変化する肝硬変になると、肝臓に血液が流れにくくなり、血液成分が血管の外に染み出してきます。この血液成分が、お腹や手足にたまり腹水や浮腫となります。また、低栄養状態に伴う血中アルブミン値の低下も腹水、浮腫を引き起こします。さらに、食塩を多く摂り過ぎると、体は体液のナトリウム濃度を薄めようとして水分をため込むようになります。その結果、体内の水分量が増加し浮腫となります。そのため、低栄養を予防し、腹水や浮